

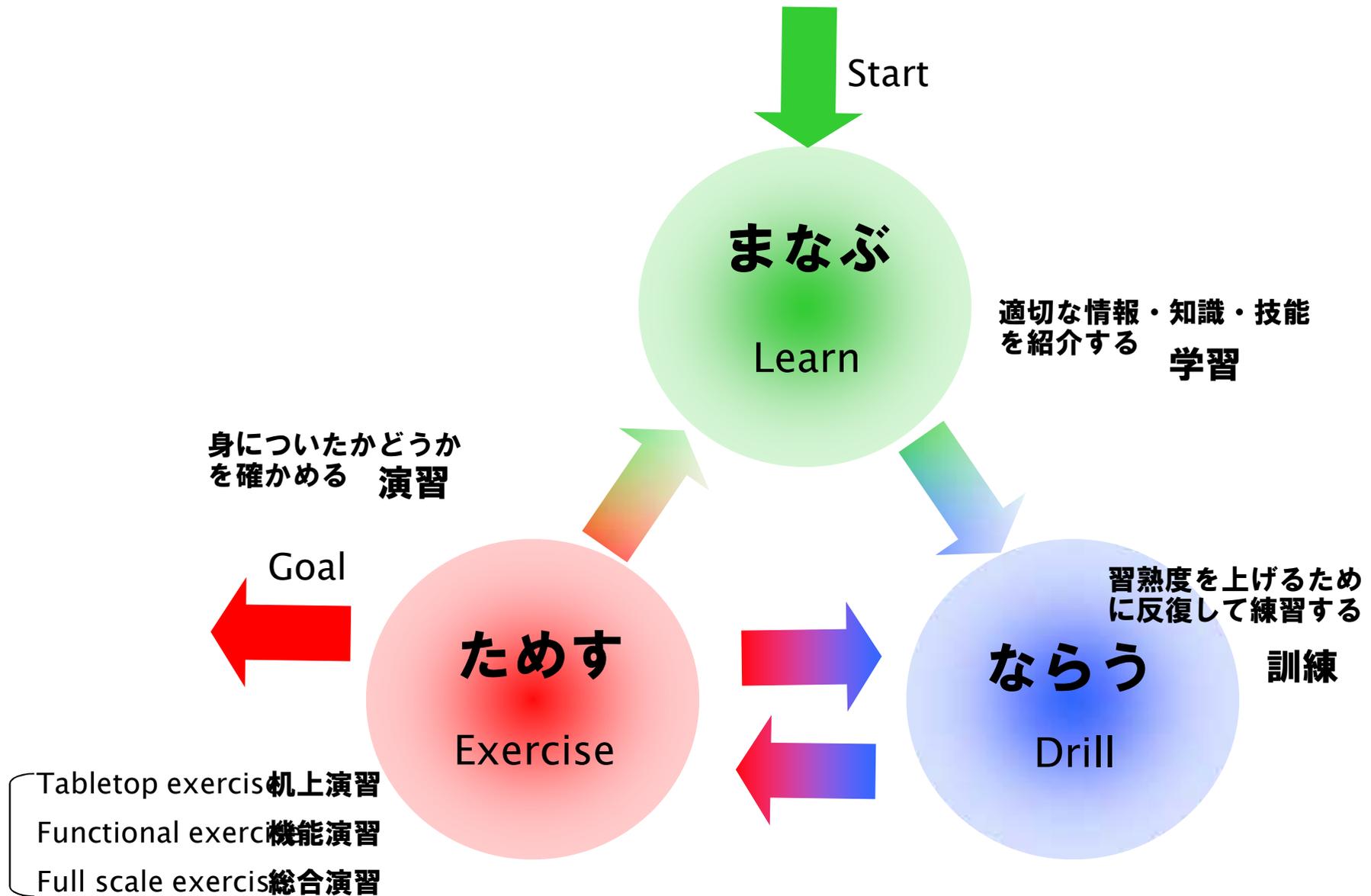
子どもたちに求められる安全(防災)に 関する資質・能力の醸成

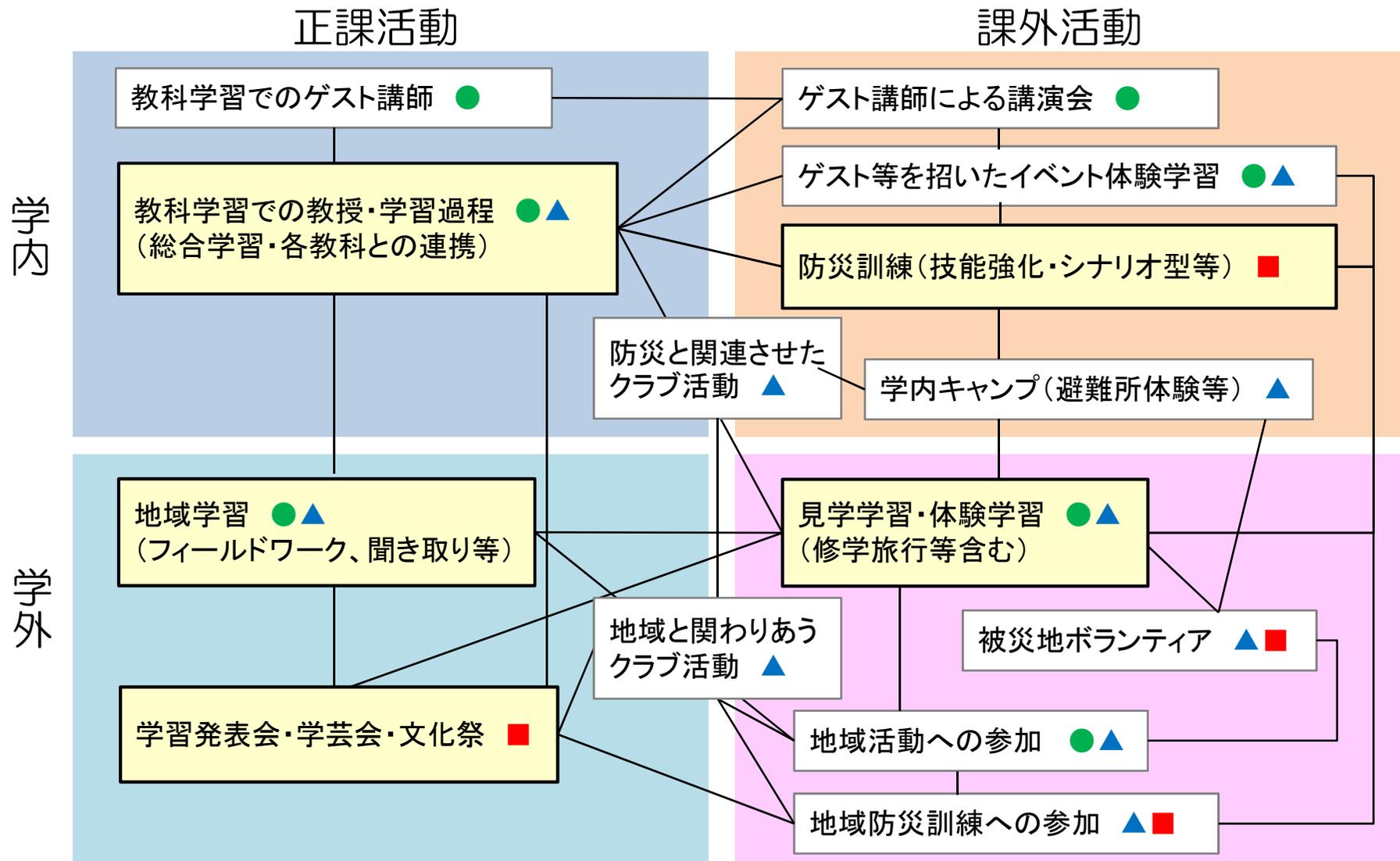
新潟大学危機管理本部

危機管理室

田村 圭子

防災教育の実践：能動的な学習





- 凡例
- 太枠: 多くの防災先進校で核となるプログラム
 - 線: 関連して実施されることが多いプログラム
 - ▲ ■ 記号: 活動の主たる目的・意図(学習目標)
 - : まなぶ(知識・技術等を身につける)
 - ▲: ならう(まなんだ知識・技術の習熟度を上げる)
 - : ためす(身につけた知識・技術を確かめる)

小中高等学校の防災教育・訓練プログラム

学習される5種類の能力(学習成果の分類)(Gagne, 1985)

あ
た
ま

言語情報(verbal information): 言葉で述べるような知識。指定されたものを覚える課題になる。

- 47都道府県庁所在地を言う 認知領域(Cognitive Domain)
- 憲法第9条を説明する

知的技能(intellectual skills): 事物の弁別、ルールや原理の適用、問題解決などシンボルを使いこなす能力。ある約束ごとを未知の例に応用するルール学習になる。

- 三角形の合同の定義を応用して、三角形の合同を証明する
- 英語の第III文型で書かれた文を、第V文型に書き換える

認知的方略(cognitive strategies): 学習者が自分自身の学習・想起・思考活動を制御する能力。「学びかたを学ぶ」ことで、どうやって学習・想起・思考活動をすれば効果的かを学ぶこと。

- ランダムな単語を覚えるときに、自分なりの方法でイメージを頭に浮かべながら暗記する
- 与えられた文章のポイントについて、自分なりに要約して説明する

こころ

態度(attitudes): 学習者の個人的な選択行動に影響を及ぼす内的な状態。

- 数ある小説のなかから、SF小説を読むことを選択する 情意領域(Affective Domain)
- 生協で「ビニール袋はもったいないからいりません」と拒否する

からだ

運動技能(motor skills): 目的のある行動を実現するための組み合わされた骨格筋の動き。

- 卒業検定で指定されたコースを車で運転する 精神運動領域(Psychomotor Domain)
- 実際に目玉焼きを作る

奈良県の試み

発行日：平成17年2月1日



奈良県学校地震防災教育推進プラン

災害に自立的に対応できる子どもの育成

「奈良県学校地震防災教育推進プラン」をPDF版でご覧いただけるようにしています。



奈良県
学校地震防災教育
推進プラン
奈良県教育委員会
発行

はじめに

奈良県教育委員会
教育長 矢野多幸一

「奈良県学校地震防災教育推進プラン」
の策定にあたって

奈良県学校防災教育研究会
委員長 林 香男
京都大学防災研究所防災学術センター長・
教授

目 次

学校（園）における防災の役割

防災計画編	教育実践編	関連資料
<p>I 第2次奈良県地震防災対策推進計画</p> <p>II 日常における安全管理と指導</p> <p>III 防災（避難）訓練の実施</p> <p>IV 学校（園）における地震発生時の安全管理</p> <p>V 保護者や地域機関との連携</p> <p>VI 災害時における役割</p>	<p>I 学校（園）における防災教育の機会と指導内容</p> <p>II 奈良県学校地震防災教育プログラム</p> <p>III 学校（園）における地震防災教育の展開例</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: x-small;">展開例のメニュー</p> </div>	<p>◎ 地震防災教育実践テーマ集 他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知事だ！ その時どうする？ ・ 家庭に避難がつかぬかったら？ ・ 交通機関が滞ってしまったら？ ・ 紙本・紙芝居・ビデオの紹介 ・ 防災教育に関する ・ 詳しくはVHSビデオについて <p>◎ 防災教育に役立つ動画ページリンク集</p> <p>◎ 巻号・引続表 他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奈良県学校防災教育研究会 ・ 調査報告書 ・ 委員名簿 等

* 著作権の都合から、一部ページは、PDFに収録していません。

<http://www.pref.nara.jp/30846.htm>

地震防災教育展開テーマ例（カテゴリー別）

出題 No.	時間経過 による分類	出題 No.	カテゴリー-1	出題 No.	カテゴリー-2	出題 No.	カテゴリー-3	発達段階	テーマ	テーマNo.	知識	技能	態度
1	地震の知識	1	揺れ・震度	1	揺れ・震度	1	しくみ	1	地震の揺れについて知ろう	11111	○		
1	地震の知識	1	揺れ・震度	1	揺れ・震度	1	しくみ	2	地震の揺れについて知ろう	11112	○		
1	地震の知識	1	揺れ・震度	1	揺れ・震度	1	しくみ	3	地震の揺れについて知ろう	11113	○		
1	地震の知識	1	揺れ・震度	1	揺れ・震度	1	しくみ	3	地震のメカニズムを知ろう（小4、葛飾区立東金町小学校）	11113	○		
1	地震の知識	1	揺れ・震度	1	揺れ・震度	1	しくみ	4	地震発生のメカニズムを知ろう	11114	○		
1	地震の知識	1	揺れ・震度	1	揺れ・震度	1	しくみ	5	地震発生のメカニズムを知ろう（江戸川区立葛西中学校）	11115	○		
1	地震の知識	1	揺れ・震度	1	揺れ・震度	1	しくみ	5	地震発生のメカニズムを知ろう	11115	○		
1	地震の知識	1	揺れ・震度	2	火山	4		1	火山の特徴を学ぼう	11124	○		
1	地震の知識	1	揺れ・震度	2	火山	4		2	火山噴火のメカニズムを知ろう（小3～6、前橋県温泉小学校）	11124	○		
1	地震の知識	1	揺れ・震度	2	火山	5		1	火山の特徴を学ぼう	11125	○		
1	地震の知識	1	活断層	1	地形・地盤	5		1	奈良県の活断層の位置を調べよう	11215	○		
1	地震の知識	1	活断層	1	地形・地盤	5		2	地震のメカニズム（地形・地盤との関係について理解しよう）	11215	○		
1	地震の知識	1	活断層	1	地形・地盤	6		1	地震のメカニズム（地形・地盤との関係について理解しよう）	11216	○		
1	地震の知識	1	活断層	2	活断層	5		1	過去の大地震の余震について学ぼう	11305	○		
1	地震の知識	1	地理学的特性	1	奈良県の特徴	4		1	奈良県の地形や地盤の特徴について調べよう	11414	○		
1	地震の知識	1	地理学的特性	1	奈良県の特徴	5		2	奈良県の地形や地盤の特徴について調べよう	11415	○		
1	地震の知識	1	地理学的特性	1	奈良県の特徴	6		1	奈良県の地形や地盤の特徴について調べよう	11416	○		
1	地震の知識	1	地震動体験	1	地震車	2		1	地震車の体験をとおして地震の恐ろしさを知ろう	11513	○	○	
2	災害の歴史・想定	1	震災事例	1	地震の脅威	1		1	絵本や視聴覚教材などで地震の恐ろしさを知ろう	21111	○		
2	災害の歴史・想定	1	震災事例	1	地震の脅威	1		2	過去の災害（阪神大震災）から地震の恐ろしさを知ろう	21112	○		
2	災害の歴史・想定	1	震災事例	1	地震の脅威	1		2	絵本や視聴覚教材などで地震の恐ろしさを知ろう	21112	○		
2	災害の歴史・想定	1	震災事例	1	地震の脅威	2		5	小さな子どもたちに、地震について紙芝居などで伝えよう	21125	○		
2	災害の歴史・想定	1	震災事例	2	被害状況	0		3	過去の地震被害について調べよう	21203	○		
2	災害の歴史・想定	1	震災事例	2	被害状況	0		4	過去の地震被害について調べよう	21204	○		
2	災害の歴史・想定	1	震災事例	2	被害状況	0		4	過去の地震を学び災害に関する理解を深めよう（小5～6、南伊豆町立南中小学校）	21204	○		
2	災害の歴史・想定	1	震災事例	2	被害状況	0		5	過去の地震被害について調べよう	21205	○		
2	災害の歴史・想定	2	被害想定	1	過去の地震被害想定	0		5	奈良県に想定される被害について知ろう	22105	○		
2	災害の歴史・想定	2	被害想定	1	過去の地震被害想定	0		6	奈良県に想定される被害について知ろう	22106	○		
3	地震災害	0		1	液状化	1		5	液状化現象の模型をつくらう	30113	○		
3	地震災害	0		1	液状化	1		6	液状化現象の模型をつくらう（兵庫県立舞子高等学校）	30116	○		
3	地震災害	0		2	津波	1		2	津波災害から身を守るための方法を学ぼう	30212	○	○	
3	地震災害	0		2	津波	1		3	津波災害から身を守るための方法を学ぼう	30213	○	○	
3	地震災害	0		2	津波	2		4	地震と津波の関係を学ぼう	30224	○		
3	地震災害	1	地震被害	1	建物倒壊	2		5	建物倒壊のメカニズムを知ろう	31125	○		
3	地震災害	1	地震被害	1	建物倒壊	2		6	建物倒壊のメカニズムを知ろう	31126	○		
4	地域理解	1	生活圏・校区	1	生活圏・校区	0		2	私たちの町の災害について学習しよう	41102	○		
4	地域理解	1	生活圏・校区	1	生活圏・校区	0		3	私たちの町の災害について学習しよう	41103	○		
4	地域理解	1	生活圏・校区	1	生活圏・校区	0		4	私たちの町の災害について学習しよう	41104	○		
4	地域理解	1	生活圏・校区	1	通学路	3		1	通学路の危険箇所を調べよう	41113	○		
4	地域理解	1	生活圏・校区	1	通学路	4		1	通学路の危険箇所を調べよう	41114	○		

区別	時間経過による分類	区別	カテゴリ-1	カテゴリ-2	区別	カテゴリ-3	基礎知識					テーマ	テーマNo.	知識	技能	態度
							区別	区別	区別	区別	区別					
4	地域理解	1	生活圏・校区	1	道字路	0						道字路の危険箇所を調べよう	411119	○		
4	地域理解	1	生活圏・校区	2	学校(園)の内外	0	1	○				震災時の園内・外の危険箇所を確かめよう	412010	○		
4	地域理解	1	生活圏・校区	3	ハザードマップ	1	自然・地帯	5		○		奈良県の自然・地形の特長を知ろう	413118	○		
4	地域理解	1	生活圏・校区	3	ハザードマップ	2	地形と災害	4		○		地域のハザードマップをつくろう(足立区立弘道小学校)	413224	○		
4	地域理解	1	生活圏・校区	3	ハザードマップ	2	地形と災害	5		○		土地の様子と災害について調べよう	413228	○		
4	地域理解	1	生活圏・校区	3	ハザードマップ	2	地形と災害	6		○		土地の様子と災害について調べよう	413240	○		
4	地域理解	2	防災マップ	1	危険回避	0	2	○				危険な場所をさけるための知識を待とう	421023	○		
4	地域理解	2	防災マップ	1	危険回避	0	3	○				危険な場所をさけるための知識を待とう	421030	○		
4	地域理解	2	防災マップ	1	危険回避	0	5		○			地域の危険箇所を調べ、災害時の対応法を考えよう	421050	○	○	
4	地域理解	2	防災マップ	2	施設の確認	0	2	○				自分の生活圏にどんな施設があるか知ろう	422020	○		
4	地域理解	2	防災マップ	2	施設の確認	0	3	○				自分の生活圏にどんな施設があるか知ろう	422030	○		
4	地域理解	2	防災マップ	2	施設の確認	0	4	○				自分の生活圏にどんな施設があるか知ろう	422040	○		
4	地域理解	2	防災マップ	3	避難場所の確認	0	4	○				校区の安全施設や看板・避難場所を確かめよう	423040	○		
4	地域理解	2	防災マップ	4	校区探検	0	3	○				防災マップづくりを通して地域を知ろう(小4、葛飾区立東金町小学校 小4～6、南伊豆町立南中小学校)	424020	○		
4	地域理解	2	防災マップ	4	校区探検	0	4	○				防災マップづくりを通して地域を知ろう(小4、葛飾区立東金町小学校 小4～6、南伊豆町立南中小学校)	424040	○		
4	地域理解	2	防災マップ	4	校区探検	0	4	○				校区探検校区の地震安全マップをつくろう	424040	○		
4	地域理解	2	防災マップ	5	危険予測	0	5		○			地震の際自分の生活圏(学校、自宅周辺)で何が起こるか予測しよう	425050	○		
4	地域理解	2	防災マップ	5	危険予測	0	6		○			地震の際自分の生活圏(学校、自宅周辺)で何が起こるか予測しよう	425060	○		
4	地域理解	2	防災マップ	5	危険予測	1	イメージマップ	3	○			イメージマップをつくろう(小4、葛飾区立東金町小学校)	425110	○		
4	地域理解	2	防災マップ	6	図上訓練	0	4	○				D I G (図上訓練)を通して災害時の対応を考えよう(小4～6、南伊豆町立南中小学校)	426040	○		
4	地域理解	2	防災マップ	6	図上訓練	0	5		○			D I G (図上訓練)を通して災害時の対応を考えよう	426050	○		
4	地域理解	2	防災マップ	6	図上訓練	0	6		○			D I G (図上訓練)を通して災害時の対応を考えよう(葛飾区立獅子浜小学校)	426060	○		
5	防災対策・計画	1	地域防災対策	1	災害に強い町	0	4		○			災害に負けない町についてみんなで考えよう	511040			○
5	防災対策・計画	1	地域防災対策	1	災害に強い町	0	3	○				災害時の様々な人の役割を理解しよう(小4、葛飾区立東金町小学校)	511020			○
5	防災対策・計画	1	地域防災対策	1	災害に強い町	0	4		○			地域の美観に目を向け、地域防災の在り方考えよう(小4～6、南伊豆町立南中小学校)	511040			○
5	防災対策・計画	1	地域防災対策	1	災害に強い町	0	5		○			地震が起こったら町はどうなる?—ポストイット—(名古屋市立大曽根中学校)	511050	○		
5	防災対策・計画	1	地域防災対策	2	防災施設見学	0	4		○			防災施設を見学しよう	512040	○		
5	防災対策・計画	1	地域防災対策	3	学校・地域・家庭の連携	0	3	○				災害に対する備えの大切さを学ぼう(小4、葛飾区立東金町小学校)	513030	○		
5	防災対策・計画	1	地域防災対策	3	学校・地域・家庭の連携	0	5		○			防災についての地域の協働関係について考えよう(学校・地域・家庭)	513050	○		○
5	防災対策・計画	1	地域防災対策	3	学校・地域・家庭の連携	0	6		○			防災についての地域の協働関係について考えよう(学校・地域・家庭)	513060	○		○
5	防災対策・計画	2	防災計画	1	学校	0	4		○			学校での防災計画を考えよう	521040	○	○	○
5	防災対策・計画	2	防災計画	1	学校	0	5		○			学校での防災計画を考えよう	521050	○	○	○
5	防災対策・計画	2	防災計画	1	学校	0	6		○			学校での防災計画を考えよう	521060	○	○	○
6	予防対策	1	家・建物・住宅	1	内部被害の防止	1	自宅の危険箇所	1	○			震災時の家庭での危険箇所を確かめよう	611110	○		
6	予防対策	1	家・建物・住宅	1	内部被害の防止	1	自宅の危険箇所	2	○			震災時の家庭での危険箇所を確かめよう	611120	○		
6	予防対策	1	家・建物・住宅	1	内部被害の防止	1	自分の部屋	2	○			自分の部屋を安全なものにしよう	611130	○	○	
6	予防対策	1	家・建物・住宅	1	内部被害の防止	1	自分の部屋	3	○			自分の部屋を安全なものにしよう	611130	○	○	
6	予防対策	1	家・建物・住宅	1	内部被害の防止	1	自分の部屋	4		○		自分の部屋を安全なものにしよう	611140	○	○	
6	予防対策	1	家・建物・住宅	1	内部被害の防止	2	家庭での備え	4		○		地震がくる前に家庭での備えについて考えよう	611240	○		
6	予防対策	1	家・建物・住宅	1	内部被害の防止	3	家庭での備え	5		○		地震の被害を少なくするための知識や方法を学ぼう(基礎的耐震化、防災グッズ、備蓄等)	611350	○		
6	予防対策	1	家・建物・住宅	1	内部被害の防止	4	自宅の平面図	4		○		自宅の平面図を作成しよう(名古屋市立東山小学校)	611440	○		
6	予防対策	1	家・建物・住宅	2	住宅の耐震化	1	安全な家	5		○		家のつくりと安全性を学ぼう	612160	○		
6	予防対策	1	家・建物・住宅	2	住宅の耐震化	2	耐震・免震構造	6		○		耐震・免震構造の家について学ぼう	612220	○		

区 種 別	時間経過 による分類	区 種 別	カテゴリ-1	区 種 別	カテゴリ-2	区 種 別	カテゴリ-3	区 種 別	準備段階				テ ー マ	テーマNo.	知 識	技 能	態 度
									1	2	3	4					
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	0		2	○				ライフラインの大切さを知ろう	72102	○		○
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	0		3	○				ライフラインの大切さを知ろう	72103	○		○
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	0		4		○			ライフラインの大切さを知ろう	72104	○		○
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	0		5			○		ライフラインの大切さを知ろう	72105	○		○
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	1	水の活用	4			○		汚れた水をきれいにする方法を体験しよう	72114		○	
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	1	水の活用	4			○		電気やガスを使わないでご飯を炊く方法を学ぼう	72114		○	
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	1	水の活用	4			○		人が1日生きるために何がどれだけ必要か考えよう	72114		○	
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	1	水の活用	5			○		防災生活を疑似体験しよう（江戸川区立葛西中学校）	72115	○	○	○
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	1	水の活用	5			○		体験を通してサバイバル技術・能力を習得しよう	72115	○	○	○
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	3	備蓄品	4			○		非常備蓄品リストをつくろう	72134		○	
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	3	備蓄品	5			○		非常備蓄品リストをつくろう	72136		○	
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	3	備蓄品	6			○		非常備蓄品リストをつくろう	72136		○	
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	4	非常持ち出し品	3			○		非常持ち出し品を確かめよう	72143		○	
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	4	非常持ち出し品	4			○		非常持ち出し品を確かめよう	72144		○	
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	4	非常持ち出し品	4			○		防災袋をつくろう（葛西区立工業北小学校、葛西区立東山小学校、葛西区立南神井小学校）	72144		○	
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	4	非常持ち出し品	5			○		防災袋をつくろう	72145		○	
7	応急対策	2	避難生活	1	ライフライン対策	4	非常持ち出し品	5			○		ライフラインの復旧を学ぼう	72155		○	
7	応急対策	2	避難生活	2	収容避難所	1	実態	5			○		災害時の避難生活の実態を学ぼう（名古屋市立上社中学校）	72216	○	○	
7	応急対策	2	避難生活	2	収容避難所	3	避難生活のルール	3			○		避難所生活のルールづくりを通して、いろいろな人と仲良くする大切さを学ぼう	72233		○	○
7	応急対策	2	避難生活	2	収容避難所	3	避難生活のルール	4			○		避難所生活のルールづくりを通して、いろいろな人と仲良くする大切さを学ぼう	72234		○	○
7	応急対策	2	避難生活	2	収容避難所	3	避難生活のルール	5			○		避難所生活でのルールをつくるとともに共同生活の知恵を学ぼう	72236		○	○
7	応急対策	2	避難生活	2	収容避難所	3	避難生活のルール	6			○		避難所生活でのルールをつくるとともに共同生活の知恵を学ぼう	72236		○	○
7	応急対策	2	避難生活	2	収容避難所	4	学校の役割	5			○		避難所となった学校での授業再開の条件を考えよう	72245		○	
7	応急対策	2	避難生活	2	収容避難所	5	避難生活のルール	2			○		復興のために働く人々に感謝の気持ちをもちよう	72252		○	
7	応急対策	2	避難生活	2	収容避難所	5	避難生活のルール	3			○		復興のために働く人々に感謝の気持ちをもちよう	72253		○	
7	応急対策	2	避難生活	2	収容避難所	5	避難生活のルール	4			○		復興のために働く人々に感謝の気持ちをもちよう	72254		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	1	被災者間の協力	2			○		被災者間の助け合いを考えよう	72312		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	1	被災者間の協力	3			○		被災者間の助け合いを考えよう	72313		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	1	被災者間の協力	4			○		被災者間の助け合いを考えよう	72314		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	1	被災者間の協力	5			○		被災者同士の協力体制を過去の例から学ぼう	72315	○		○
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	1	被災者間の協力	6			○		被災者同士の協力体制を過去の例から学ぼう	72316	○		○
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	2	他人への思いやり	2			○		他人への思いやりを考えよう	72322		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	2	他人への思いやり	3			○		他人への思いやりを考えよう	72323		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	3	家族の絆	3			○		家族の絆を考えよう	72333		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	3	家族の絆	4			○		家族の絆を考えよう	72334		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	4	家族の絆	3			○		災害時におけるボランティアの大切さを学ぼう（小4、葛西区立東金町小学校）	72343		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	4	家族の絆	3			○		自分にできる救援・救助活動を考えよう	72343		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	4	家族の絆	4			○		自分にできる救援・救助活動を考えよう	72344		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	4	家族の絆	4			○		災害時の半日ボランティアを考えよう	72345		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	5	自分にできること	5			○		自分にできる救援・救助活動を考えよう	72355		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	5	自分にできること	6			○		自分にできる救援・救助活動を考えよう	72356		○	
7	応急対策	2	避難生活	3	助け合い（社会・地域）	6	家族の絆	6			○		近所町での大規模災害に取り組めるボランティアについて話し合おう	72366		○	○

項目 No.	時間経過 による分類	分類 No.	テーマ1	分類 No.	テーマ2	分類 No.	テーマ3	実施形態	実施内容	アーマNo.	知識	技能	態度	
														アーマ
7	応急対策	2	避難生活	3	行政の役割	3			災害時の国、県、市町村の役割について学ぼう	72383	○			
7	応急対策	2	避難生活	3	行政の役割	4			災害時の国、県、市町村の役割について学ぼう	72384	○			
7	応急対策	2	避難生活	3	行政の役割	5			災害時の国、県、市町村の役割について学ぼう	72385	○			
7	応急対策	2	避難生活	3	行政の役割	6			災害時の国、県、市町村の役割について学ぼう	72386	○			
7	応急対策	2	避難生活	4	仮設住宅	0			仮設住宅の生活に学ぼう（名古屋市立上社中学校）	72408	○	○		
7	応急対策	2	避難生活	5	被災者の気持ち	1	講演	2	○	被災体験者の話を聞き、思いや教訓に学ぼう	72512			○
7	応急対策	2	避難生活	5	被災者の気持ち	1	講演	3	○	被災体験者の話を聞き、思いや教訓に学ぼう	72513			○
7	応急対策	2	避難生活	5	被災者の気持ち	1	講演	4	○	被災体験者の話を聞き、思いや教訓に学ぼう	72514			○
7	応急対策	2	避難生活	5	被災者の気持ち	1	講演	5	○	被災体験者の話を聞き、思いや教訓に学ぼう	72515			○
7	応急対策	2	避難生活	5	被災者の気持ち	1	講演	6	○	被災体験者の話を聞き、思いや教訓に学ぼう	72516			○
7	応急対策	2	避難生活	6	被災者の気持ち	2	手記	5	○	「語り継ぎたい、命の輝き」を読んで感想や意見を発表しよう	72525			○
7	応急対策	2	避難生活	6	被災者の気持ち	2	手記	6	○	「語り継ぎたい、命の輝き」を読んで感想や意見を発表しよう	72526			○
8	その他	1	防災教育教材	0		1	防災スローガン	4	○	防災スローガンをつくろう	81014	○	○	○
8	その他	1	防災教育教材	0		2	防災辞典	6	○	防災辞典をつくろう	81026	○	○	○
8	その他	1	防災教育教材	0		3	防災クイズ	5	○	防災知識クイズをつくろう	81033	○	○	○
8	その他	1	防災教育教材	0		4	絵本・紙芝居	5	○	絵本、紙芝居をつくろう	81045	○	○	○
8	その他	1	防災教育教材	0		4	絵本・紙芝居	6	○	絵本、紙芝居をつくろう	81046	○	○	○
8	その他	1	防災教育教材	0		5	防災10箇条	6	○	防災10箇条をつくろう	81056	○	○	○
8	その他	2	防災訓練	1	パケツリレー	0		4	○	パケツリレーをしよう（小6、葛飾区立東金町小学校 小6、高知市立大塚小学校）	82104			○
8	その他	2	防災訓練	1	パケツリレー	0		5	○	より実践的な防災訓練を通じて緊急時に対応できる判断力を養おう（パケツリレー）	82105			○
8	その他	2	防災訓練	2	地域とともに	0		3	○	地域とともに防災訓練を実施しよう	82203			○
8	その他	2	防災訓練	2	地域とともに	0		4	○	地域とともに防災訓練を実施しよう	82204			○
8	その他	2	防災訓練	2	地域とともに	0		5	○	地域とともに防災訓練を実施しよう	82205			○
8	その他	3	防災教育教材	0		0				防災リーダーを育成しよう	8300			

8 10 53 66

*他府県の例は防災教育チャレンジプラン等を参考に列挙

総数	8107	83	66
小・中	23		
小・高	31		
小・中・高	56		
中学校	51		
高校	25		

校種等	小学校・小学部			中学校・中学部	高等学校・高等部	
	低学年(1～2年)	中学年(3～4年)	高学年(5～6年)			
科	生活科	<p>(1) 自分たちの生活は地域の人々や環境や施設と関わっていることが分かれ、それらに頼りながら、人々と適切に暮らすことや安全に生活できるようにする。</p> <p>(2) 公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることなどが分かれ、それらを大切に、安全に使い付けて正しく利用することができるようにする。</p>				
	家庭科 (技術・家庭)	<p>(1) 住まい方に関心をもち、身の回りを快適に暮らすことができるようにする。</p> <p>ア 整理・整と人や物を工夫すること。</p> <p>イ 身の回りを快適に暮らすための手立てや工夫を調べ、気持ちよい住み方を考えること。</p>			<p>〔家庭分野〕</p> <p>A 住まいの自立と衣食住</p> <p>(2) 食生活の選択と日食の健康の基礎について、食の事項を指導する。</p> <p>イ 簡単な日食の調理ができること。</p> <p>(3) 室内環境の整備と住まい方について、食の事項を指導する。</p> <p>イ 安全で快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫ができること。</p> <p>B 家族と家庭生活</p> <p>(3) 家庭生活と地域のかかわりについて、食の事項を指導する。</p> <p>ア 地域の人々の生活に関心をもち、高齢者など地域の人々がかかわることができること。</p>	<p>〔家庭基礎〕</p> <p>(1) 人の一生と家族・福祉</p> <p>ウ 高齢者の生活と福祉</p> <p>(2) 家族の生活と健康</p> <p>ア 食生活の管理と健康</p> <p>イ 食生活の管理と健康</p> <p>ウ 住生活の管理と健康</p> <p>〔家庭総合〕</p> <p>(3) 高齢者の生活と福祉</p> <p>(4) 生活の科学と文化</p> <p>ア 食生活の科学と文化</p> <p>イ 食生活の科学と文化</p> <p>ウ 住生活の科学と文化</p>
	体育科 (保健体育)	<p>F 保健</p> <p>(2) 健康の大切さを認識するとともに、簡単によい生活の仕方が理解できるようにする。</p> <p>ア 毎日を健康に過ごすためには、食事・運動・休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であること。</p> <p>イ 毎日を健康に過ごすためには、体の健康を保つことであるが、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。</p>	<p>G 保健</p> <p>(2) けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当てができるようにする。</p> <p>ア 交通安全、学校生活の事故などによるけがの防止には、周囲の危険に気付いて、危険な行動の下に安全に行動するや準備を安全に整えることが必要であること。</p> <p>イ けがをしたときなどは、速や94に申告する必要があること。また、簡単な手当てができること。</p>	<p>〔保健分野〕</p> <p>(1) 心身の機能が発達し心の健康について理解できるようにする。</p> <p>エ 心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対応するとともに、心身の調和を保つことが大切であること。また、欲求やストレスへの対処の仕方に応じて、精神的、身体的に様々な影響が生じることがあること。</p> <p>(2) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。</p> <p>ア 自然災害や交通事故などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関係して発生すること。また、傷害の多くは安全な行動、準備の改善によって防止できること。</p> <p>イ 応急手当てを適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。</p>	<p>〔保健〕</p> <p>(1) 現代社会と健康</p> <p>ウ 精神の健康</p> <p>人間の状態と適応行動には様々な種類があること及び精神と身体には密接な関係があること。また、精神の健康を保持増進するためには、欲求やストレスに適切に対応するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であること。</p> <p>オ 応急手当て</p> <p>傷害や疾病に際しては、心身療法などの応急手当てを行うことが重要であること。また、応急手当てには正しい手順や方法があること。</p>	
	専門授業に関する教科				<p>専門授業等における保健、生活、電気、算数、理数関係の専門科目には、災害に関連した学習内容が含まれている。また、管理、福祉などでは、災害時の応急手当てやフィアード活動、家庭などは衣食住に関する学習を通じ、防災教育を展開することも可能である。</p>	

目標等	小学校・小中学			中学校・中学院	高等学校・高専校	
	低学年(1～2年)	中学年(3～4年)	高学年(5～6年)			
道徳	<p>1 主として自分自身に関すること。</p> <p>(1) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、物の取りまわし、おがまをしようとして、真に正しい生活をする。</p> <p>2 主として自然や風景などのほかの者に關すること。</p> <p>(2) 生きること喜び、生命を大切にすることをしつゝ、</p>	<p>2 主として他の人とのほかの者に關すること。</p> <p>(1) 生活を支えている人々や労働者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。</p> <p>3 主として自然や風景などのほかの者に關すること。</p> <p>(2) 生命の尊厳を感じ取り、生命のあるものを大切にする。</p>	<p>2 主として他の人とのほかの者に關すること。</p> <p>(1) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それによつて、</p> <p>3 主として自然や風景などのほかの者に關すること。</p> <p>(2) 生命がかけがえのないものであることを知り、自然の生命を尊重する。</p> <p>4 主として集団や社会とのほかの者に關すること。</p> <p>(1) 身近な集団に参入して参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。</p> <p>(2) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知り、社会のために役に立つことをする。</p>	<p>3 主として自然や風景などのほかの者に關すること。</p> <p>(2) 生命の尊厳を理解し、かけがえのない自然の生命を尊重する。</p> <p>4 主として集団や社会とのほかの者に關すること。</p> <p>(1) 働く喜びや意義を理解し、事柄の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。</p>		
特別活動	<p>・学校や学校の生活の充実と向上を図り、健全な生活態度の育成に資する活動をめざすこと。</p> <p>(2) 日常の生活や学習への意欲及び健康や安全に關すること。</p> <p>希望や目標をもって生きる態度の形成、 思いやり人間関係の育成、 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 など</p>			<p>・学校や学校の生活への意欲を促すとともに、その充実と向上、生徒が活躍する経験への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。</p> <p>(2) 個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に關すること。</p> <p>社会の一員としての自覚と責任、ボランティア活動の意義の理解、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成、など</p>	<p>・ホームルームや学校の生活への意欲を促すとともに、その充実と向上、生徒が活躍する経験への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。</p> <p>(2) 個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に關すること。</p> <p>社会生活における役割の自覚と自己責任、ボランティア活動の意義の理解、心身の健全な生活態度や習慣の形成、生命の尊重と安全な生活態度や習慣の確立、など</p>	
	<p>・学校生活の充実と向上のために種別種を創設し、協力してその展開を図る活動を行う。</p>			<p>・学校生活の充実や改善向上を図る活動、生徒の主体性についての理解活動に關する活動、学校行事への協力に關する活動、ボランティア活動などを行うこと。</p>		
	<p>・学校生活に秩序と定規をもち、集団への所属感を高め、学校生活の充実と発展に資する体系的な活動を行うこと。</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事 安全な行動や規律ある集団行動の体得、責任感や達成感の体験などに資するよう活動を行うこと。</p> <p>(4) 旅行・集団宿泊的行事 集団生活の在り方や公共道徳などについての適切な体験を積むことができるよう活動を行うこと。</p> <p>(5) 勤労生活・奉仕的行事 勤労の尊厳や生活の喜びを体得するとともに、ボランティア活動など社会奉仕の精神を養う体験が得られるよう活動を行うこと。</p>			<p>・学校生活に秩序と定規をもち、集団への所属感を高め、学校生活の充実と発展に資する体系的な活動を行うこと。</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事 安全な行動や規律ある集団行動の体得、責任感や達成感の体験などに資するよう活動を行うこと。</p> <p>(4) 旅行・集団宿泊的行事 集団生活の在り方や公共道徳などについての適切な体験を積むことができるよう活動を行うこと。</p> <p>(5) 勤労生活・奉仕的行事 勤労の尊厳や生活の喜びを体得し、職業や進路にかかわる体系的な体験が得られるようにするとともに、ボランティア活動など社会奉仕の精神を養う体験が得られるよう活動を行うこと。</p>	<p>・学校生活に秩序と定規をもち、集団への所属感を高め、学校生活の充実と発展に資する体系的な活動を行うこと。</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事 安全な行動や規律ある集団行動の体得、責任感や達成感の体験などに資するよう活動を行うこと。</p> <p>(4) 旅行・集団宿泊的行事 集団生活の在り方や公共道徳などについての適切な体験を積むことができるよう活動を行うこと。</p> <p>(5) 勤労生活・奉仕的行事 勤労の尊厳や生活の喜びを体得し、職業や進路にかかわる体系的な体験が得られるようにするとともに、ボランティア活動など社会奉仕の精神を養う体験が得られるよう活動を行うこと。</p>	
総合的な学習の時間	<p>・各学校は、地域や学校、児童(生徒)の実態等に基いて、個別的・総合的な学習や読書の推進・関心等に基づいた学習や創造工夫を生かした教育活動を行うものとする。</p> <p>・総合的な学習の時間の学習活動を行うに当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(2) 自然体験やボランティア活動などの社会体験、観察・実験、見学や調査、発表や対論、ものづくりや生産活動など体系的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れること。</p>					

※中学校、50中学校及び養育学校においては、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の指導内容に準ずるとし、「総合活動」においても、幼児児童生徒の発達の状態や特性、発達段階等を十分考慮して、適切に行う。

発達段階		3・4・5歳児								
タイトル		地震発生時の身の守り方を知ろう								
実施日(月日)										
所要時間		15分	15分		5分					
展開		導入	展開(室内)							
達成すべき目標	ねらい	地震時の様子を知り地震の怖さ気付く	地震時の保育室での身の守り方を知る							
生成物		地震への関心	地震発生時(室内)に対応しようとする態度	自分の身を守ろうとする態度						
作業単位	形態	学級全体								
進め方	幼児の活動	絵本『ひかりのまちのまもの』を見て地震時の様子を知る。	地震について気付いたことを話したり聞いたりする。	地震の時に保育室ではどのような行動をとればよいのか考える。	保育室の安全な場所、集まる場所、布団などを守り身をかがめる。 ・防災ずきんをかぶる練習をする。	地震の時に園庭で遊んでいる場合、各遊び場でのような行動をとればよいのか考える。	遊びをやめて園庭の安全な場所に集まる。 ・手で顔部を守り身をかがめる。 ・高い所には登っていない時は無防備に落ち着いて行動できるようにする	園庭に気を付けながら、好きな遊びをする。	教員の合図に合わせて安全な場所に避難し、自分の身を守る。	教員の話を聞き、地震から命を守る大切さに気付く。
	指導上の配慮	絵本『ひかりのまちのまもの』を読んで地震時の様子を知らせる。	地震について話し合う機会をもち、気付いたことや感じたことなど幼児の思いを引き出す。	保育室で遊んでいる時に地震が起こった場合、どのような行動をとればよいのか、選択クイズ形式にしたり話し合ったりして、幼児の考えを引き出す。	身のかかめ方を指導する時、幼児が分かりやすいように(ダンゴ虫・かめ・カタツムリなど)身近なモデルを示す。	園庭で遊んでいる時に地震が起こった場合、どのような行動をとればよいのか話し合う機会をもち、幼児の考えを引き出す。	できるような望ましい行動の仕方について確認する。	約束ことを確認し、合図があるまで園庭で遊んでもよいことを伝える。	園庭を巡り、一人一人の様子を見守りながら、中央の安全な場所に幼児を集める。	再度、身の守り方を確認したり、命の大切さを知らせる。頑張ったことを認め満足感をもたせる。
ツール	環境準備物	絵本『ひかりのまちのまもの』(理化学研究所 地震防災フロンティア研究センター発行)	行動の仕方を絵で示した選択カード	*保育室の安全な場所、集まる場所が分かるようにビニールテープなどで印をつける。	防災ずきん、布団など				合図を送るための笛など	
場所		保育室			園庭					

姫路市の試み



The screenshot shows the official website of Himeji City. The header features the city logo and navigation tabs for residents, visitors, and businesses. Below the header is a search bar and utility links. The main content area is titled "学校災害対応マニュアル作成指針について" (About School Disaster Response Manual Creation Guidelines). The text explains that in response to the Great East Japan Earthquake and other disasters, the city has established a committee to create a manual for schools. The manual is available in PDF format, with a table of contents provided below.

学校災害対応マニュアル作成指針について

「学校災害対応マニュアル作成指針」(平成25年2月発行)についてお知らせします。

概要

甚大な被害をもたらした東日本大震災や毎年のように発生する風水害等、過去の災害の教訓を踏まえ、各学校園では、子どもたちのかけがえのない命を守るため、安全・防災において、より効果的な対策を進めていくことが求められています。

そこで、平成24年5月に、「姫路市立学校園防災マニュアル作成検討委員会」(林 春男委員長・京大防災研究所巨大災害研究センター教授)を設置し、姫路市における安全・防災に際して検討いただき、報告をいただきました。

姫路市教育委員会では、その報告をもとに、「学校災害対応マニュアル作成指針」としてとりまとめました。

各学校園は、本指針に沿って、自校園の「学校災害対応マニュアル」を作成し、平成25年4月から運用を開始します。

「学校災害対応マニュアル」

- 学校災害対応マニュアル作成指針-委託等(PDF形式、5853KB)
- 学校災害対応マニュアル作成指針-1章(PDF形式、8577KB)
- 学校災害対応マニュアル作成指針-2章(PDF形式、6380KB)
- 学校災害対応マニュアル作成指針-3章-1(PDF形式、3467KB)
- 学校災害対応マニュアル作成指針-3章-2(PDF形式、8544KB)
- 学校災害対応マニュアル作成指針-3章-3(PDF形式、2368KB)
- 学校災害対応マニュアル作成指針-4章以降(PDF形式、8914KB)

http://www.city.himeji.lg.jp/s110/2212774/_28949.html

学校災害対応マニュアル作成指針



姫路市教育委員会

目次

はじめに
策定にあたって

学校災害対応マニュアル作成指針とは

1 指針作成のねらい	2
2 学校災害の定義	2
3 活用の前提	3
4 本指針の適用範囲	3
5 学校園における緊急課題	3
6 本指針の構成	4
7 活用するにあたって	6

I どのようなことに気をつけるべきか

1 姫路市で予想される学校災害について	8
2 被害の想定について	10

II いざというときどうするのか

1 学校園が守るべき優先順位について	30
2 学校災害のレベルと対応基準について	30
3 授業再開目標について	30
4 避難体制について	31
5 対応の流れについて	34
6 報道機関等への対応について	41
7 子どもたちの引き渡しについて	43
8 避難所開設について	46

III そのために普段からどう備えるか

1 学校園が備える・教職員が学ぶ	48
2 子どもたちが学ぶ	58
3 保護者・地域にお願する	80

IV 被害を予防するために何をするのか

1 中長期的学校園整備計画	88
---------------	----

参考資料

◎ 学校災害対応マニュアル【参考例】	92
◎ 姫路市避難所運営マニュアルより一部抜粋	99

参考・引用文献
委員等名簿

Ⅲ そのために普段からどう備えるか

2 子どもたちが学ぶ

本市では「はぐくもう子どもの夢、高めあおう郷土の教育」として、生きる力を育む教育を推進している。安全・防災教育では、自他の命を守る能力や共生の心を育むことをねらいとする。

■ 本指針に関連している内容と実践例

	内 容	実 践 例
学習 1	● 道路市で起こりうる災害を学ぶ ～私たちの身の回りで何が起こるのか～ →P60	「地震や津波に対して正しい知識を身につけよう」
学習 2	● 命を守る避難行動を学ぶ ～幼児に身につけさせておきたいこと～ →P62	「地震が起きたとき、あわてないで避難しよう」
学習 3	● 命を守る避難行動を学ぶ ～子どもたちが身につけておくべき行動～ →P64	「災害時に命を守る避難行動ができるようになるよう」
学習 4	● 命を守る避難行動を学ぶ ～体験型学習施設等を活用して～ →P66	「ひめじ防災プラザで学ぼう」
学習 5	● 身近な地域に起こる危険を学ぶ ～防災マップ作りを通して～ →P68	「校区の防災マップを作ろう」
学習 6	● 身近な地域に起こる危険を学ぶ ～ロードマップ作成から安全を考える～ →P70	「安全な道学を考えよう」
学習 7	● 身近な地域に起こる危険を学ぶ ～不審者による被害を受けないための行動を学ぶ～ →P72	「不審者遭遇時に命を守る避難行動を考えよう」
学習 8	● 共に生きる心を学ぶ ～自分たちができる被災地支援～ →P74	「ぼくらができる被災地支援を考えよう」
学習 9	● 共に生きる心を学ぶ ～ボランティア活動を通して～ →P76	「共生の心を育むボランティア活動をしよう」
学習 10	● 心のケアについて学ぶ ～自分ができるストレス対処方法～ →P78	「災害とわたしたちの心を学ぼう」

■ 安全教育の目標 【文部科学省「生きる力をはぐくむ学校での安全教育」より】

日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような資質や能力を養う。

ア 日常生活における事件・事故災害や犯罪被害等の現状、原因及び防止方法について理解を深め、現在及び将来に直面する安全の課題に対して、的確な思考・判断に基づき適切な意思決定や行動選択ができるようにする。

イ 日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動をとるとともに、自ら危険な環境を改善することができるようにする。

ウ 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭、地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。

■ 各発達段階等における重点

幼児	①日常生活の場面で、安全な生活習慣や態度を身につけることができる。 ②災害発生時には、教職員や保護者の指示に従い行動できる。 ③危険な状態を発見したときに、近くの大人に伝えることができる。
小学生 低学年	①安全に行動すること、安全のためのきまりや約束を守ること、身の回りの危険に気付くことができる。 ②危険発見時や災害発生時には、近くの大人に連絡し、指示に従い行動できる。
小学生 中学年	①「生活安全」「交通安全」「災害安全」の危険の原因や事故防止を理解し、危険に気付くとともに、自ら安全な行動ができる。
小学生 高学年	①様々な場面で発生する危険を予測し、進んで安全な行動ができる。 ②自分自身の安全だけでなく、家族など身近な人々の安全にも気配りができる。 ③簡単な応急手当ができる。
中学生	①交通安全や日常生活に関して安全な行動をとるとともに、応急手当の技能を身につけ、防災への備えや的確な避難行動ができる。 ②自他の安全に対する自己責任感をもつことができる。 ③学校、地域の防災や災害時のボランティアの大切さを理解し、参加できる。
高校生	①自らの安全確保に加え、友人・家族・地域等の安全に貢献する大切さがわかる。 ②心筋梗塞生活などの応急手当の技能を高め、適切な手当が実践できる。 ③安全安心な社会づくりの理解を深めるとともに、地域の安全に関する活動や災害時のボランティア活動等に積極的に参加できる。
障害のある 児童生徒等	①児童生徒等の障害の状態、発達の段階、特性等及び地域の実態等に応じて、自ら危険な場面や状況を予測・回避したり、必要な場合は援助を求めたりすることができる。

Ⅲ そのために普段からどう備えるか

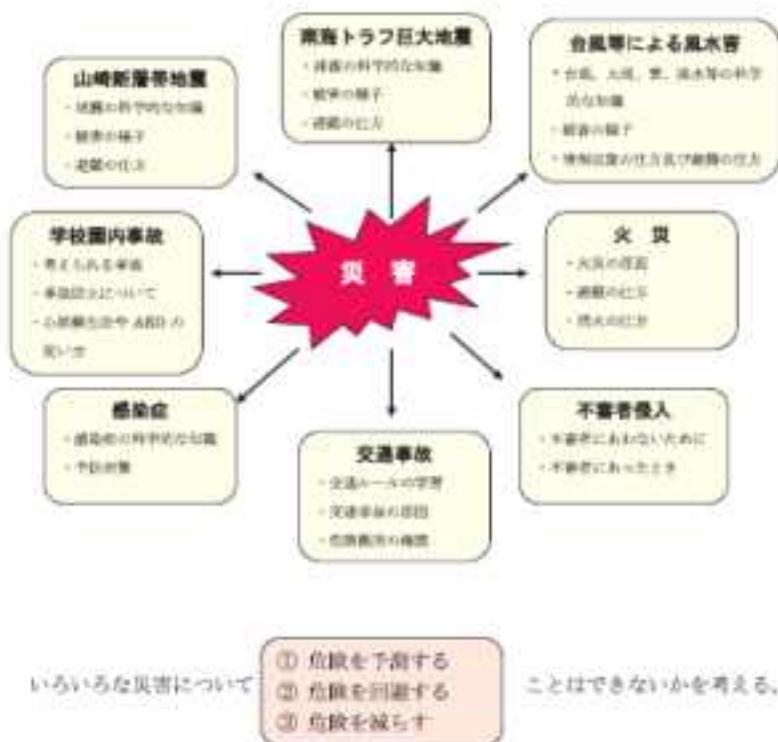
学習1 ●新潟市で起こりうる災害を学ぶ ～私たちの身の回りで何が起こるのか～

新潟市で起こりうる災害は様々なものが予想される。その中でも共通の学校災害の被害想定をP12から掲載している。それらの学校災害が発生した場合、私たちの身の回りで何が起こるのかを知識として習得しておかなければならない。

その知識をもとに、「命を守るためにどのような行動をすべきか」と考えを深めることで、将来、遭遇するかも知れない災害に対しても応用できるようになる。

【子どもの学び】

- 災害の起こり方や被害の様子について学ぶ。
- 災害を減らすための知識の備えの大切さを学ぶ。



実践例① 「地震や津波に対して正しい知識を身につけよう」

指導する学年	小学校6年生	指導する教科等	総合的な学習の時間	時間	1時間
--------	--------	---------	-----------	----	-----

ねらい： 地震や津波の起こり方や被害などを学び、日頃の備えを考えることで、いざ地震が起きた時に自分の命を守れるようにする。

使用する資料等： 中学年用「明日に生きる」P24-25『二つの大地震』（兵庫県教育委員会）
「1、17は忘れない」（兵庫県教育委員会）

1 導入（5分）

- 阪神・淡路大震災や東日本大震災時の被害の様子や被害の様子などを見ることによって、地震や津波の災害に対して関心をもつ。

2 展開（38分）



（1）地震について

- ① 地震は、プレートの活動によって引き起こされることを学ぶ。
- ② 日本は、地震大国であることを学ぶ。（4つのプレート）
- ③ 地震によってどんな被害が起こるのかを学ぶ。
- ④ 山崎新層岩地層と南海トラフ巨大地震について学ぶ。

（2）津波について

- ① 津波の起こり方を学ぶ。
- ② 津波と普通の波の違いを学ぶ。（速さ、威力、繰り返し、地形による津波の高さなど）
- ③ 南海トラフ巨大地震での津波到達時間及び津波の高さ（予想）について学ぶ。

3 まとめ（5分）

- 地震や津波に備えて日頃から準備しておかなければならないことを話し合う。
- ① 地震が起きた時のための身の回りの確認をする。
- ② 津波が来た時のための避難方法の確認をする。

確認事項： ① 地震や津波の起こり方などを知ることができたか。
② 日頃から準備しておかなければならないことが発見できたか。

指導する教科・行事等： 6年理科「土地のつくりと変化」 特別活動（学校行事）「避難訓練」

防災教育 チャレンジプラン

- ・内閣府などのサポートのもと、2004年から防災教育の専門家有志によって実施
- ・防災教育の新しい試み、アイデアによる活動に資金・専門家知見・人材交流の場などを提供。これまでに学校や地域など162団体を支援
- ・「21世紀の災害に立ち向かうのは、今の子どもたちです。災害に見舞われたとき、自分自身を守りお互いに助け合っている力を今から育む防災教育が、この国の将来にとって不可欠なのです」
- ・学校での総合の時間を活用した継続的な学習、地域と共同した集中的な学習、新しい防災教育の試みについて、ホームページから発表資料・起生書、北海道安室をガウ、ロ、ドマキ

<http://www.bosai-study.net/top.html>

●新しいものが動き始める前夜の地上を震らせた。防災教育活動の継続提供の場としてこのサイトを運営してまいります●

防災教育チャレンジプラン

サイト検索 [検索]

ホーム | サポートページ | 参加団体募集 | 発表資料募集 | サイトマップ

防災教育チャレンジプラン 募集

2012年度チャレンジプラン 団体の紹介

防災教育 事務局

防災教育 Q & A

チャレンジプラン 実行委員会の コラム

防災教育に役立つ リンク集

3月11日の東日本地方太平洋沖地震が発生しました。まず、皆さんのご意見を拝見いたします。これまでの調査を通して、被災地の方々にできること、自分たちの組織に求められていることに関するお問い合わせや、被災地の方々の強さ、我が国のホスピタリティの大きさに感動を受けておられます。

同時に、震災災害救助、災害復興に関してさまざまな新しい課題が発生しており、今後多くの困難が予想されます。そうした困難を少しでも和らげるために、私共防災研究に携わる者としてこうした事態に際して、できる限りのことをしたいと思っております。

この地震で、防災教育の重要性が改めて思いを醒められたみなさんも大勢おられると思います。防災教育チャレンジプランでは、そのような皆さんを積極的に支援できるよう、今一層の努力をいたします。

前後に受けましたが、地震の被災地には、防災教育チャレンジプランを実施された皆さんと大勢の関係者がおられます。その皆さんのご意見を拝見し、そして皆さんがこの言葉を聞き取り、多くのみなさんに防災教育の重要性を伝える活動に積極的に参加され、皆さんと共同活動されるようになることを願っております。

防災教育チャレンジプラン実行委員会委員長 村 春男(京都大学防災研究所)

1 防災教育チャレンジプラン参加団体の報告

昨年度、「復興教育特別大賞」受賞の3校をピックアップ!

釜石市立釜石東中学校
発表資料 | 報告書 | 発表の様子

南三陸町立歌津中学校
発表資料 | 報告書 | 発表の様子

大河原町立全っ洞中学校
発表資料 | 報告書 | 発表の様子

防災教育って何ぞしたらいの? チャレンジプラン実施団体の発表報告をもとに、防災教育で何ぞしたらいの?、イベントとして実施したい、総合学習や遠征授業で実施したい、といった観点から分類しました。

防災教育の... 実施したい!

イベントとして... 実施したい!

総合学習や遠征授業で... 実施したい!

防災教育に興味を持ってみたいけど、何をしたらいいの? そんな方は、ここで発表のある学校や団体を探してみよう

イベント形式で防災教育を実施したいけど、どんな活動で何を盛り込めばいいの? そんな方は、

学校の授業で取り入れたいとお考えの先生方へ、効果的でアイデアに富んだ総合学習の取り組みを紹介し

●若い人たちのために備わった能力の向上を図るため、防災教育活動の発展促進の場としてこのサイトを運営しております●

防災教育 チャレンジプラン

サイト内検索

ホーム | サポーター専用サイト | 参加者交流広場 | ご意見・お問い合わせ

防災教育 チャレンジプラン 募集 | 2014年度 チャレンジプラン 団体の紹介 | 防災教育 事例集 | 防災教育 Q & A | チャレンジプラン 実行委員会の コラム | 防災教育 リンク集

ホーム > 実践団体の紹介 > 総合学習や選択授業で実践したい!! >

総合学習や選択授業で実践したい!! 実践団体の紹介

●防災教育の素材を探す ●イベントとして実施したい ●総合学習や選択授業で実践したい

- なぜ・なにを学ぶ山と火山への引き渡し訓練
(北海道虻田郡虻田町立洞爺湖温泉小学校・環境防災総合政策研究機構)
- 植生の回復
(北海道虻田郡虻田町立洞爺湖温泉小学校・環境防災総合政策研究機構)
- 噴火のメカニズム「マグマはどこからやってくる」
(北海道虻田郡虻田町立洞爺湖温泉小学校・環境防災総合政策研究機構)
- 植生回復「春がまたやってきた」
(北海道虻田郡虻田町立洞爺湖温泉小学校・環境防災総合政策研究機構)
- 仮設教室での授業開始
(北海道虻田郡虻田町立洞爺湖温泉小学校・環境防災総合政策研究機構)
- 「守る命！自分は何ができる？」熱意に自信、やってみよう災害シミュレーション
(東京都葛飾区立東金町小学校)
- 教壇に立ってお話しを聞きたい
(防災一座)
- 災害に強いまちづくりプロジェクト2009
(高知県高知市立大津小学校)
- 大津こども防災訓練
(高知県高知市立大津小学校)
- 伊豆半島中継局について調べよう
(静岡県南伊豆町立南中小学校)
- ほく・わたしのできること
(静岡県南伊豆町立南中小学校)
- 南伊豆の実態を調査しよう
(静岡県南伊豆町立南中小学校)
- ふれあいを通じて

北海道虻田郡虻田町立洞爺湖温泉小学校／環境防災総合政策研究機構 実践団体の紹介・連絡先

1) 団体の運営のまわり | 2) 事例の紹介 | 3) プランの発表シート | 4) 最終報告会資料(PDF) | 5) 最終報告書(PDF)

プラン名	有珠山噴火記念「火の山の響き」を活用した防災授業の試行
対象・参加人数	洞爺湖温泉小学校 3年生～6年生 61名
実施期間	
目的	副読本制作メンバーであった火山専門家と教員により、副読本を使った授業のモデルケースを作ることが目的である。噴火の仕組みや火山の響きなどを学びとともに、火山災害から命と財産を守るためのノウハウも、子どもたちが身につけることが期待される。
内容	有珠山の2000年噴火を題材とした洞爺湖温泉小学校では、次の観点で防災授業に力を入れてきた。 1) 命を守る防災教育、2) 財産を守る防災教育、3) 科学の目を持った防災教育、 4) 専門家・専門機関・地域と連携した防災教育、5) 火山の響きを知る防災教育 今年度のチャレンジプランでは、環境防災総合政策研究機構と連携して、有珠山防災副読本「火の山の響き」を活用した授業展開を試みる。授業は、父母や地域住民、および洞爺湖の教員に公開するとともに、今後各校の教員独自で実施できるように資料を作成する。 実施内容は、 1) 温泉小学校教員による防災授業 2) 火山専門家とともに野外で山形断崖堆積物や砂層などの地形と噴出物や火山ガス、地熱作用や温泉作用についての学習 3) 教室でのマグマの発生と上昇についての学習 4) 森林の専門家とともに、植生の回復についての学習 【副読本内容の紹介】 ○「なぜ・なにを学ぶ山と火山への引き渡し訓練」(全校児童) ○「仮設教室での授業開始」(3年生) ○「植生回復「春がまたやってきた」」(3年生) ○「植生の回復の一生」(全校児童) ○「有珠山フェールバックワーク」(3年生) ○「噴火のメカニズム「マグマはどこからやってくる」」(3年生)
成果	子どもたちは、火山についてかなりの知識をもった。様々な他の災害に、強い関心を寄せるようになった。

○なぜ「なに有珠山」と父母への引き渡し訓練 実施日:4月24日 所要時間:45分 場所:清田温泉小学校 1F

達成すべき目標	生成物	進め方	ツール
1)11月噴火と有珠山の被害を知る 保護者にも説明の機会を理解してもらう スムーズな引き渡し訓練		○ビデオを視聴し、有珠山についての理解を深める 噴火ばかりではなく、浸透の発生やその他の災害時にも避難することを知る ○避難しなければならぬ状況や児童・保護者へ説明の引き渡し訓練 ・児童は地区別に集合 ・教職員は同じ気持ちを持ち保護者を待つ ・保護者は子どもの地区の担当教諭のところへ行き引き取る	スクリーン ビデオ プロジェクター



[コースの紹介](#)

○植生の回復1 実施日:5月24日 所要時間:15分 場所:清田温泉小学校前庭

達成すべき目標	生成物	進め方	ツール
植物再生に向けて予想させる		○準備 ○ガイダンス(授業のねらいの説明) 有珠山噴火後と森林の再生後の写真を見せ、どうやって植物が入り込んできたか予想させる。(鳥の糞や根などを予想)	ビデオ スクリーン



[コースの紹介](#)

○植生の回復2 実施日:5月24日 所要時間:20分 場所:清田町中

達成すべき目標	生成物	進め方	ツール
樹木の観察と種の手取り		○種の観察や1〜2年経過した苗の観察 資料が少なく見えていたらあらかじめためておいた。 種のみ種袋に集め、 すでに発芽しかけているものも取りよめる。	

[コースの紹介](#)

○植生の回復3 実施日:5月24日 所要時間:15分 場所:清田温泉小学校前庭・道端

達成すべき目標	生成物	進め方	ツール
採取した種を苗圃に植す		○種まき、発芽した苗をポットに植す ○校庭の片側に苗を植え付ける	

[コースの紹介](#)

○噴火のメカニズム「マグマはどこからやってくる」 実施日:10月17日 所要時間:15分 場所:清田温泉小学校

達成すべき目標	生成物	進め方	ツール
噴火のメカニズムについて理解を深める		○マグマはどこからと置いた室内授業では子供たち自身も興味を持って欲しい自分で再現してみることが出来る簡単な実験器具を考え、ビデオ撮影しておいて見てもらった。 ○噴火仕組の違い(例、実際の噴火活動の動画をみながら説明) 講師:環境防災総合政策研究機構 専攻理事 中井	60センチの90センチスクリーン マイク



熊谷地方気象台 の試み

「緊急地震速報を利用した避難訓練」教育機関支援ページ

熊谷地方気象台では、埼玉県教育委員会と連携した「気象等に関する安全知識の普及啓発」の一つの取組として、緊急地震速報を利用した学校での避難訓練を推進しています。本ページでは、避難訓練を実施するために必要な情報を掲載し、教育機関を支援します。

◆緊急地震速報を利用した避難訓練の目的

地震による揺れ・揺れを事前に知らせる緊急地震速報を受信した想定を避難訓練に盛り込むことにより、児童自らが適切な対応行動を取り、その場に応じた避難ができるよう訓練内容の充実を図る。また、緊急地震速報を学習するための事前指導・訓練後の事後指導を行うことにより、児童・教職員の防災意識を高める。

◆緊急地震速報を利用した避難訓練の概要

【訓練の流れ】

●校内放送でチャイム音を流す→自ら避難行動(机の下にもぐる等)→状況確認・避難指示(教員)→避難行動

◎ポイント… 避難訓練前の事前指導を実施すると効果的。

避難行動の際は、これまで学校で実施してきた避難訓練と同じ。(※避難の動きを見直すことも重要)

○熊谷市モデル事業(2011.5.18～)

事業概要

避難訓練実施計画(小学校)

避難訓練実施計画(中学校)

モデル事業の成果

◆緊急地震速報を利用した避難訓練を導入するために

①訓練の必要性を理解する。

新入生訓練とは(研修資料)

訓練の必要性(埼玉教育 No.782)

訓練の必要性(地域安全学会 No.21)

②従来の避難訓練実施計画を見直す。

避難訓練を実施するまでの流れ・疑問例

③避難訓練に必要なツールを入手する。

緊急地震速報受信時対応行動訓練用キット (気象庁)

→ダウンロードして利用可

緊急地震速報受信時対応行動訓練用音源 (気象庁)【NEW】

→全国の学校へ配布

緊急地震速報のチャイム音 (日本放送協会)

→視聴のみ可能

緊急地震速報の報知音・音源提供 (緊急地震速報利用者協議会)

→視聴及び音源の購入

緊急地震速報訓練用音源 (気象台)

→貸与可能

④次の資料を利用して、避難訓練前の事前指導を行う。

緊急地震速報訓練用・事前学習プログラム(指導案・ワークシート)

事前指導用ビデオ資料『その時、あなたはどようする！緊急地震速報のしくみと心得』

緊急地震速報リーフレット(子供用)

緊急地震速報リーフレット(一般向け)

⑤避難訓練を実施する。

緊急地震速報訓練プログラム

【推奨】ショート訓練の実践

<http://www.jma-net.go.jp/kumagaya/education/index2.html>

■基礎データ

タイトル	緊急地震速報を聞いたときの「正しい行動」を学ぶ
ねらい (学習目標)	1. 緊急地震速報についての基礎的な知識を知る 2. 地震による物の動き方を知り、緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を考える 3. 安全な場所への移動のルールを学ぶ
対象学年	小学生全般
教科・イベント等	緊急地震速報による対応・避難訓練 (専攻学習)
学習形態	全員 (授業) →個人 (ワークシート) →全員 (答え合わせ) →全員 (授業) 計45分
準備	ワークシート (A～Cのどれか)、授業補助資料 1 (ワークシートの図表)、授業補助資料 2 (緊急地震速報リーフレット)、授業補助資料 3 (避難行動イラスト)、緊急地震速報特用音源 (授業に備える) ※熊谷地方気象台ホームページ (http://www.jma.go.jp/kamagaya/education/index.html)

■学習の流れ

構成	学習活動の内容	指導上の留意点 (主な発問と子どもへの援助)
1 導入 (5分)	1 地震の怖さを知る 2 緊急地震速報についての基礎的な知識を知る	<p>● 「今日は、地震が起こったときに何をすれば、自分の身を守ることができるのかについて考えてみましょう」 中遠赤に発生した地震 (東日本大震災、新幹・東海大震災等) について、写真等を見せながら思い出す</p> <p>● 「まず、みなさんは緊急地震速報 (きんききょう・じしん・そくほう) という言葉を知っていますか、テレビやラジオから『ディコンティンクト』という音が鳴って『緊急地震速報です。強い揺れに警戒して下さい』という放送が流れることがあります。また、携帯電話でも緊急地震速報を聞くことがあります」</p> <p>● 「緊急地震速報は、地震による強い揺れがくる前に『気をつけてください』と知らせてくれるチャイム音のことです。緊急地震速報を聞いてから強い揺れがくるまでの時間は、数秒から数十秒しかありません」 ※チャイム音を携帯電話やラジオ等で聞く方法を確認するといふ ※二重下線の意味をしっかりとらせる</p>
2 展開1 (30分)	3 地震による物の動き方を知り、緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を考える (1) 発表しあって、より良い方法を確認する	<p>● 「では、学校で緊急地震速報を聞いた時、どうすれば自分の身を守ることができずか、これから少し時間をとります。ワークシートの1番に書いてあるそれぞれの場所で、みなさんがどのように自分の身を守ればよいのか、自分の意見を書いて下さい」 □ ワークシート1への記入時間を10分程度とする ※緊急地震速報受信機が未設置の学校では、チャイム音は訓練のみで放送することを説明しておく</p> <p>● 「それでは自分の考えを発表してもらいましょう。まず、教室ではどのようにすればよいでしょうか」 ※1つずつ発表させ、話しあって確認する ※グループに分けて話し合い、グループで考えたことを1つずつ発表しながら確認してもよい ※発表した意見を黒板に整理しながら確認してもよい</p>

じしん じぶん み まち
地震から自分の身を守ろう！

ねん ぐみ びょうめい
年 組 名前 ()

1. どうすれば自分の身を守ることができますか。考えてみましょう。

きょうしつ 教室		机の下にもぐる。机が動かないように机の足をしっかりとにぎる。 ※机が移動しないような行動をさせてとることを教える。 ※自分の机ではなく、近くの机の下にもぐる。机がない場合は頭を守ることを教える。 ※強い揺れにより、キャスターが付いている重たいものが動くことを教える。
こうの 廊下		壁ガラスから離れる。頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れでは、近くの教室へ移動することができないことを教える。
かいばん 階段		手すりにつかまる。頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れでは、隣り室や近くの教室へ移動することができないことを教える。
こうてい 校庭		ものが倒れてこないところ(校庭の中央など)に逃げる。校舎や道具から離れ、頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れでは、校庭の中央まで移動できないことを教える。
としょしつ 図書室		本棚から離れる。頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れにより、キャスターが付いている重たいものが動くことを教える。
トイレ		ドアを開ける。頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れで、ドアが開かなくなって閉じ込められることを教える。

2. 自分の身を守るためには、どのようなことに注意すればよいですか。

	上からものが「落ちてこない」場所へ移動する。
	横からものが「倒れてこない」場所へ移動する。
	横からものが「移動してこない」場所へ移動する。

新潟大学の試み

HOME > 教育・大学生生活 > 施設 > 防犯キャンペーンを実施しています！

このページの印刷



防犯キャンペーンを実施しています！

最近、大学周辺で盗難、痴漢、不審者による声掛けなどが頻発していることから、夏季休業前、学生の危険防止と大学周辺の地域における防犯の意識を高めることを目的として防犯キャンペーンを実施することになりました。

【期間】
平成29年6月20日(月)から7月20日(金)までの約1ヶ月

【具体的内容】

1. 学生の危険防止等に関する講演会の実施 ～地域自治会を交えて～

- ・ 富田町から講師を招き、五十嵐キャンパス(車で2回/人文社会・教育科学系と自然科学系の2会場)、聖町キャンパス(車で1回、開催します。

日 時	場 所	会 場 者
7月19日(火) 18:30～18:55	工学部101講義室	主として自然科学系所属の学生、教職員
7月20日(水) 18:30～18:55	人文社会科学棟D340講義室	主として人文社会・教育科学系所属の学生、教職員
7月20日(金) 18:30～18:55	保健学科D41講義室	主として医学系所属の学生、教職員

- ・ 本講演会は、周辺地域の防犯・安全に関心を持ってもらうことで学生の危険防止等に関する意識を高めることを目的としています。

「講演会の内容」

- ・ 自衛隊員(防犯、古物類取付検察)
- ・ 九井小の防犯団員
- ・ 飲酒マナー(アルコールハイラス/小)
- ・ 盗難・置き引き、痴漢、痴歩、ごみ処理など
- ・ 地域から見た危険防止

2. 自転車マナーの指導

http://www.niigata-u.ac.jp/education/50_attention_010/010.html

http://www.niigata-u.ac.jp/top/pickup/260606_02.html

The Great Nigata
Shake Out

シェイクアウト 訓練

日時
平成26年6月16日(月)
13:02~13:03

新潟大学では全学で「新潟市地震対応(シェイクアウト)訓練」に参加します。シェイクアウト訓練は地震の際の安全確保行動

① ② ③。「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける機会です!

13:02 訓練開始(放送で指示します) → 訓練①②③(下図参照) → 訓練終了(放送終了)

 <p>DROP! まず低く</p> <p>①まず体制を低くして地震に近づきましょう。(強い揺れてきたあなたが倒れる前に)</p>	 <p>COVER! 頭を守り</p> <p>②指定されたデスクやテーブルの下に入り、頭を守りましょう。頭を守るものがない場合は、腕や荷物を使って、頭を守りましょう。</p>	 <p>HOLD ON! 動かない</p> <p>③そして揺れが止まるまで動かさずじっとしましょう。</p>
---	---	---

情報伝達

訓練

同日13:03~
皆さんの携帯電話やスマホに新潟市からメールが届きます

新潟市から、各行政機関、緊急連絡メール等で「地震時には大変な事柄」「地震区、避難区には土砂災害による避難指示が情報伝達されます。

新潟大学危機管理本部
NIGATA University Risk Management Headquarters

